

(様式1・小学校用①)

# 令和3年度 学校評価報告

草加市立西町小学校  
(令和4年2月1日作成)

<b>1 学校教育目標</b> ○よく考え 工夫する子 (知) ○心豊かで 思いやりのある子 (徳) ○たくましく ねばり強い子 (体) ＜キャッチフレーズ＞ 「感動いっぱい 夢いっぱい みんな生き生き 輝け西町」	
<b>2 重点目標・努力目標</b> ○子どもを認め・褒めていく学校 ○「新しい時代に必要となる資質や能力」を育成する学校 ○健康な心と体を育むと共に、体力を向上させる学校 ○安心で安全に生活を送ることができる学校 ○地域とともにある学校	<b>3 前年度の成果と課題</b> 成果 ○プログラミング教育に関わる実践的な教育計画を作成し、効果的な指導法を構築することにより、児童の論理的思考力を高めることができた。 課題 ●感染症拡大防止の観点から縮小せざるを得なかった幼保・中との交流や学校公開について、教育効果を高めるためにできることを模索し、実践する。

4 評価表 ※評価基準 [A:十分達成している B:おおむね達成している C:やや不十分である D:不十分である]				
領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
I 学校運営に関するもの	①組織運営	・学校経営目標、方針 ・校務分掌組織 ・適所への適材配置 ・職員会議等の運営 ・予算の執行・決算、監査等	A	○校務分掌組織が機能し、計画立案や課題解決にむけた取組の工夫・改善が組織的に行われている。 ○企画委員会の検討内容を学年会で報告することでスムーズな職員会議となっている。
	②研究・研修	・研究組織、計画、実施 ・校内研修の推進 ・授業改善への取組 ・校外研修会への参加 ・人材育成	A	○前年度の取組を生かして、さらに研修を深めることができた。 ○計画的に研修が行われたことで授業研究が組織的に行われ授業改善に資することができた。
	③保健管理・安全管理	・保健計画、安全計画 ・環境衛生の管理 ・健康観察、安全点検 ・緊急事態発生時の対応 ・危機管理マニュアルの作成・活用	A	○学校における感染症拡大防止対策を整備し、全職員の共通理解のもと慎重かつ組織的な感染症対策が実践されている。 ○火災、地震に加え竜巻や洪水に対する避難方法についての共通理解が図られ、危機管理体制を充実させた。
	④情報管理・施設設備管理	・個人情報の管理、保護 ・施設設備の管理と有効利用	A	○定期的に全職員で施設設備点検を実施し、要対応箇所については迅速な対応が図られた。 ○全職員の共通理解のもと、個人情報関係書類の適切な管理が実現できている。
	⑤地域との連携開かれた学校	・学校情報の発信 ・学校公開の実施 ・学校運営協議会の推進 ・地域、校種間連携 ・PTA活動の活性化	A	○ホームページで積極的に教育活動を公開し、各種便りとあわせて広く地域に発信した。 ○学校運営協議会との連携を深め、地域とともにある学校づくりを推進した。
	⑥幼保小中を一貫した教育	・目指す子ども像の共有 ・15年間を通じたカリキュラムの編成 ・一貫教育推進のための組織づくり	B	○コロナ禍でも取り組める計画を検討し、幼稚園・保育園との交流を図ることができた。 ●中学校区の目指す子ども像の実現に向け、中学校区が一体となって教育活動の一層の充実を図る。

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
II 教育活動に関するもの	①教育目標・教育計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>15年間を通じたカリキュラムの編成、実施</li> <li>教育計画の作成</li> <li>教育活動の評価</li> <li>目標、方針の周知</li> <li>授業時数の配当、確保</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育課程の進捗状況を定期的に確認し、教育課程の適切な実施を実現した。</li> <li>○保護者による学校評価の学力に関する項目で80%以上の達成評価を得た。</li> </ul>
	②教科指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導計画の立案</li> <li>主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善</li> <li>評価、評定の工夫</li> <li>外部人材の活用</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童アンケートの「授業中、よく考えて勉強している」で94%の児童が「はい」とし、学びの充実が図られている。</li> <li>○「草加っ子の学びを支える授業の5ヶ条」に基づいた授業を全学級で実施した。</li> </ul>
	③道徳教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体計画の作成</li> <li>各教科との関連</li> <li>道徳的実践力の育成</li> <li>家庭、地域社会との連携</li> <li>いのちの教育の推進</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○道徳ノートに保護者からコメントを記入していただいたり、個人面談の機会や週予定表で道徳の授業について話題にしたりすることで家庭との連携を図ることができた。</li> </ul>
	④外国語・外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導計画の立案</li> <li>指導方法の工夫と改善</li> <li>評価、評定の工夫</li> <li>各教科、道徳教育との関連</li> <li>中学校との連携</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○担任とALTとの共通理解のもと充実した学習活動を展開することができた。</li> <li>●感染症対策により活動に制限がある中ではあるが、コミュニケーション力の一層の向上を図る。</li> </ul>
	⑤特別活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導計画の立案</li> <li>学級活動、学級経営</li> <li>学校行事</li> <li>児童会活動</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○当番活動や係活動の充実を図り、児童一人ひとりが活躍する場を意図的に設け、自己有用感を高めることができた。</li> <li>●学級活動の指導の系統的な充実を図る。</li> </ul>
	⑥「総合的な学習の時間」の指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導計画の立案</li> <li>指導内容の充実</li> <li>指導方法の工夫と改善</li> <li>評価の工夫</li> <li>地域の人材・物的資源の活用</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○外部人材の活用が難しい場合でも、ICTを活用して授業を工夫することで学習の充実が図られた。</li> <li>●児童の興味・関心に応じた学習や体験的な学習を一層推進する。</li> </ul>
	⑦生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>組織的な生徒指導</li> <li>問題行動への対処</li> <li>教育相談、児童理解</li> <li>いじめ防止対策</li> <li>保護者、地域、諸機関との連携</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保護者評価の「子どもがいじめを許さないという意識を持っている」で98%の達成評価を得た。</li> <li>○各種会議への外部人材の積極的な登用を図り、地域及び関係機関との連携の強化に努めている。</li> </ul>
	⑧キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画の立案</li> <li>指導内容の充実</li> <li>中学校との連携</li> <li>啓発的経験の充実</li> <li>家庭、地域との連携強化</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○キャリアパスポート「わたしの志ノート」を活用し、家庭との連携に努めた。</li> <li>●各教科におけるキャリア教育の視点を明確にし、勤労を重んじる態度や将来への夢や希望の獲得にむけた教育の充実を図る。</li> </ul>
	⑨特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別の指導計画、支援計画</li> <li>指導方法の工夫と改善</li> <li>通常学級との交流</li> <li>諸機関との連携</li> <li>校内支援体制の整備</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校内支援体制が整備され円滑に機能することで、保護者との共通理解のもと特別支援教育の充実が図られている。</li> <li>○関係機関との連携が適切に行われている。</li> </ul>
	⑩学校図書館教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導計画、支援計画の作成</li> <li>図書館補助員の活用</li> <li>諸機関との連携</li> <li>図書館の整備</li> <li>図書館利用の工夫</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○読書ビンゴやビブリオバトルの実施等、読書活動の充実が図られている。</li> <li>●取組の継続・発展を図り、本に親しむ児童をさらに増やしていく。</li> </ul>
	⑪情報教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育計画の作成</li> <li>校内研修の充実</li> <li>ICT機器の積極的な活用</li> <li>情報モラル教育の推進</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○計画的に研修を行い、タブレット端末の効果的な活用が図られている。</li> <li>○校内研修の充実により、プログラミング的思考の育成が図られている。</li> </ul>
	⑫人権教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体計画の策定</li> <li>各教科との関連</li> <li>人権感覚の育成</li> <li>校内研修の充実</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保護者評価の「人権を尊重する教育に努めている」で95%の達成評価を得た。</li> <li>●人権感覚育成プログラムを活用した教育実践を推進する。</li> </ul>

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
Ⅲ 特色ある学校づくり	1 学力向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親和的な学級集団</li> <li>・主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善</li> <li>・草加っ子の学びを支える授業の5ヶ条を意識した授業展開</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童を認め・褒めるための「しかけ」のある授業展開の工夫が図られた。</li> <li>○書くことに重点を置き、書いて表現する力の育成に努めた。</li> </ul>
	2 心身ともに健康な児童の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育的活動の充実</li> <li>・保健学習、保健指導の充実</li> <li>・アレルギー対応体制の充実</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校内研修による共通理解のもと、アレルギー対応が適切に実践されている。</li> <li>●体力向上に向けた年間を通じた取組の充実を図る。</li> </ul>
	3 安心・安全な環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己有用感の育成</li> <li>・積極的な生徒指導の推進</li> <li>・「もくもく清掃」の定着</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○共通理解のもと、積極的な生徒指導の充実が図られている。</li> <li>○「もくもく清掃」が定着し、清潔な環境を作り出している。</li> </ul>

**5 総合評価** (学校関係者評価を含む)

- 学校教育目標を具現化するため、「潤いと品格のある西町小」を目指す学校像として、組織的に教育活動を推進した。
- 日常的に「報告・連絡・相談」を徹底することで、校務分掌主任を中心とした複数による組織対応が機能した。
- 学校の教育方針及び児童の様子について、各種便りやホームページを通じて保護者や地域への積極的な発信が行われた。
- コロナ禍においても、常に創意工夫を心がけ、教育活動の充実に努めた。
- 生徒指導や児童理解において関係機関との連携を丁寧を図ることで、安心・安全な教育活動の実践に努めた。

**6 次年度の改善策**

- 学力の向上
  - ・ICTのさらなる効果的な活用を探求し、主体的・対話的で深い学びの充実に図る。
  - ・家庭と協力して学習規律及び学習習慣を確立させ、基礎基本の定着を図る。
- 生徒指導・教育相談の充実
  - ・外部機関とも連携し、SNSとの関わり方や情報モラルに関する教育の充実に図る。
  - ・教育活動全体を通して、お互いを尊重する態度を育成し、親和的な集団の構築を図る。